

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2017-71364(P2017-71364A)

【公開日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2015-201040(P2015-201040)

【国際特許分類】

B 6 0 C 23/04 (2006.01)

G 0 1 L 17/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 23/04 N

G 0 1 L 17/00 3 0 1 P

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月16日(2018.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

図7は、センサID確定状態を説明するための図表である。図7に示すように、右前、左前、右後、左後の4つのタイヤ位置には、それぞれ、アンテナIDが「1」、「2」、「3」、「4」のLF送信アンテナ14aが対応付けられている。また、各タイヤ位置の4つのタイヤ3にそれぞれ設けられた検出装置2のセンサIDは、該検出装置2が設けられたタイヤ3のタイヤ位置にそれぞれ関連付けて、センサIDテーブルに登録されている。例えば、右前のタイヤ位置には、センサID「111111」が、左前のタイヤ位置には、センサID「222222」が、右後のタイヤ位置にはセンサID「333333」が、左後のタイヤ位置にはセンサID「444444」が関連付けられている。

一方、図7中「受信したセンサID」は、受信した各タイヤ位置に対応するセンサIDを示しており、タイヤ位置毎に、センサIDテーブルに登録されているセンサIDと、受信したセンサIDとが一対一で完全に一致している。具体的には、車両Cの右前に位置するLF送信アンテナ14aから第1要求信号を送信し、受信したセンサIDが「111111」、左前に位置するLF送信アンテナ14aから第1要求信号を送信し、受信したセンサIDが「222222」である。同様に、車両Cの右後に位置するLF送信アンテナ14aから第1要求信号を送信し、受信したセンサIDが「333333」、左後に位置するLF送信アンテナ14aから第1要求信号を送信し、受信したセンサIDが「444444」である。